２０２１年６月３日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7663号　第56号
ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(1)

SSTK

さくら草だより

発行人:埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0851
川口市芝新町15-9アステール藤野1階
電話:048-225-1625　頒価:50円

編集人:社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
HP:http://www.sakuraso.net/ 電話:048-813-7426
Fax:048-8866301 E-mail:info@sakuraso.net

デイセンターかりん　2021年度　スタート

　かりんの新年度がスタートしました。写真にもあるように、浦和特別支援学校から4名の卒業生がかりんの仲間となりました。依然、コロナ禍が続いていますので、昨年と同様に保護者の方のみをお招きしてのこじんまりした入所式を執り行いました。心を込め、そして想いが通じあえるような式になれたらといつも思っています。そして改めて保護者の皆様とお話できる時間と、共に新しい門出をお祝いすることができたことを心から感謝します。
　今年度は15名になったことを踏まえ、またスタッフからの提案やアイディアもあり、活動の幅も広げていきたいと思います。　　デイセンターかりん施設長　丸中　愉可

毎週火曜日の午後は地域清掃

毎週火曜日の午後は地域清掃を行っています。4月20日は大谷口細野公園へ行ってきました。一生懸命草むしりをされる方、トングを使ってゴミ拾いをされる方、清掃している様子を見守られる方、そんなかりんの仲間たちと元気に活動しています。周りの地域の方々と笑顔で挨拶をしながら、これからも楽しさを大切にみんなで活動していきたいと思います。　内木

広報誌の封入作業は　デイセンターさくら草・アトムが担当しています

２０２１年６月 3日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7663号　第56号
ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(2)

入所式

4月1日デイセンターさくら草あんくじ班にてあんくじ入所式を行いました。コロナ禍ということで縮小バージョーンでしたが班のみんなで作った桜や看板を飾り付けてアットホームなものになりました。

そして、約一か月後の5月6日にも、1名の方が入所されました。今年度は3名の方を迎えあんくじ班は24名の方が所属されています。
職員の異動があり新しい職員もいます。２０２１年度新生あんくじ班もどうぞよろしくお願い致します。

あんくじ班　根岸

感染症対策

玄関や食堂に足踏み式消毒ポンプスタンドを設置しました。手洗い場にはソープディスペンサーを設置するなど、非接触の感染対策が増えました。職員は各自アルコールボトルを持参していたり、送迎車も使用後消毒を行っています。

また、1階の相談室を医務室として改装しています。隣接するトイレとの壁を一部取り払い一つの部屋にし、ベッドを置きました。さらに外に出られるようドアも取り付けました。発熱された方が他の方と触れ合わない環境で過ごせるような部屋となっています。

＜さくら草・アトム・いぶき・かりん活動報告＞　（５月１日～７月３１日）

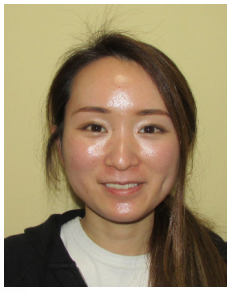
５月	自閉症スペクトラム障害支援者入門研修会（かりん、吉田）
６月	じゃがいも堀り（見沼田んぼくらぶ）かりん
	喀痰吸引研修（いぶき、コスモス、アトム）予定

健康診断：年２回／通院介助、静的弛緩誘導法訓練会参加、陶芸、せっけん教室：適宜
誕生会：各誕生月／理容カット、体重測定、各班避難訓練、各班イベント、音楽療法、
アロマセラピー、給食会議、家族会：月１回／美容カット、安全委員会：隔月／各会議：月１回～

２０２１年　６月　３日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７６６３号　第５６号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(3)

アシストさくら草

◎職員さん紹介



デイセンターいぶきより異動してまいりました安藤です。4月からアシストでお世話になっています。いぶきとは仕事の内容が異なる部分も多く、不安もありますが、早く仕事を覚えて皆さんと楽しく過ごせたらいいなと思います。好きな食べ物は、おすしとスパイスカレー。カレー屋巡りをしに大阪に行きたいです。山登りと旅行が好きです。どうぞよろしくお願い致します！

◎コロナ禍の外出について

緊急事態宣言が２回3回と繰り返され、変異ウイルスも出て、まだまだ終息が見えない状況が続いています。皆様には、長い自粛となかなか外出できない生活が余儀なくされ、疲れが出ていることと思います。

アシストでの外出自粛も１年が経ち、終息を今か今かと待ち望んでいましたが、悪化していくばかりです。その中でも少しでも楽しく暮らしたいと、職員・ヘルパーと今だから出来る事を探し、おいしい食事の出前やテイクアウトを皆で探して食べたり、ドライブを楽しんだり、さくら草近くの遊歩道の桜や菜の花を見に行ったりとそれなりの楽しみを見つけているようです。早く安心した生活が出来る事を願っている毎日です。

＊＊＊　お出かけ企画について（５月現在）　＊＊＊

解除内容　人混みを避けての公園利用
テイクアウトを利用してのレストラン利用
ドライブ

控える内容　都内・県外へのお出かけ
公共交通機関の利用
屋内企画（カラオケ、映画鑑賞、ゲームセンター等）

◎こんな交流がありました・・・

いつもみんなで行っていた“いちご園”の方が、採れたてのいちごを届けてくださいました。久しぶりに会った利用者さんのことを覚えてくれていて、「元気だった～？○○さん」と声をかけてくれたり…。まだ遠くへは行けず、今年もいちご狩りはムリと諦めかけていたところ、美味しいいちごが食べられてみんなにっこり。(^^)　来年は行けるといいな～

アシストさくら草　大澤

２０２１年6月　3日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７６６３号　第５６号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(4)

南区障害者生活支援センターあみ～ご

なんで『あみ～ご』なの？　～名付け親に聞いてみた～

「南区障がい者生活支援センターあみ～ご」は法人設立時に立ち上げられました。
当時、法人設立に全力で邁進していた山本理事長が、支援センター開設手続きの期限の迫る中、名称を考えてくださいましたが、それが名簿の語順でも上に来るはずの「あ」から始まるアドボカシー（権利擁護）からとった「アドボ」という名前でした。
　しかし当時も今もアドボカシーという言葉は一般的ではなかったので、発音もしやすく、スペインやポルトガルで友人、味方、の意味を持つ「あみ～ご」にしたいと主張しました。
　また、当時は鈴木あみさんという歌手が「あみ～ゴ」と呼ばれて人気者でしたので、伸ばす部分をただの横線ではなく、「にょろ（～）」にしました。

おかげさまで、あみ～ごは利用者さんにも施設前を通行する子供たちにも覚えやすく言いやすいものとなり、人気を博しております！
今後ともあみ～ごをどうぞよろしくお願いいたします。「～にょろ」です！お間違えなく。

「あみ～ご」命名者　あみ～ご江端

あみ～ご非公式キャラクター
ドン・ホセ・あみ～ご・ゴンザレス氏
画：江端

リモート会議がんばっています！
あみ～ご職員が参加する様々な会議もリモートが増え、先日はあみ～ごが主催もしました。元々アナログ派が多いあみ～ごですが、zoomの操作をみんなで練習して、スムーズに議題が進行するよう研鑽中です！

議事録がリアルタイムで入力される様子を感心して画面を眺める杉本職員

南区相談支援事業所 事例検討会を開催しました

南区内で計画相談を行なっている相談支援事業所が集まり、互いに相談したり、連携や社会資源、対応について学び合う場として、初めて独自の事例検討会をリモートで主催しました。教育や医療、将来の生活など、様々な問題が混在している相談に対し、ざっくばらんに意見や質問を出し合い、有意義な会となりました。よい雰囲気で話し合えたのも、参加者の協力があってこそ。大変ありがたく感じました。今後も支基幹援センターとして、地域の相談支援のスーパーバイズ、迷ったり、行き詰ったケースを、一緒に考え、地域の支援力の底上げに貢献できるよう、このような機会を継続していきます。

南区障害者生活支援センターあみ～ご（梶山）

２０２１年6月　３日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７６６３号　第５６号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(5)

キッズさくら草　活動報告

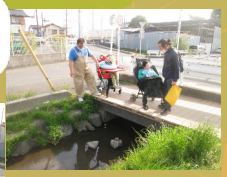
節分

今年の節分はたくさんの鬼が来てくれました！

バカヤロー week

２月２８日のバカヤローの日に因んで
巨大メガホンを作りみんなで
『バカヤロー』と叫びました！

ザリガニ釣り



１匹も釣れませんでした・・・

中等部卒業式

春休み

星のツボ ～第３話～

理学療法士：星 虎男先生

今回は…自律神経をサポートするツボ！

両耳の上端を
結んだ線と
眉間からまっすぐ上に
伸ばした線が
交差する位置

☆ 頭痛や頭重感にも！

① 両手の中指を重ねて
ツボにあて 両肘を張ります

② １，２，３で首を
後ろに反らし息を吸いながら
力を入れて指圧します。
４，５，６で息を吐きながら
力を抜いて元に戻ります。

③ これを５～６回行います。

鬼１グランプリ

今年の節分は鬼の頂点を決める
Ｍ－１グランプリならぬ
鬼－１グランプリをキッズで開催しました。
さくら草の玄関に募った鬼の写真を掲示し
ビビッときた鬼にシールを張ってもらいました。
その結果１１匹の鬼と合計１０９票の票数を
集めることが出来きました。
参加していただいた鬼様、シールを張って
いただいた皆様にお礼申し上げます。

２０２１年6月　3日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７６６３号　第５６号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(6)

【 医療的ケアが必要な方の地域生活を支える 】

さくら草を利用されているご家族の高齢化は、本人の在宅生活を続けることの困難さとなって表れている。老障介護の8050問題が年々深刻になってきている。

平成15年度以降の支援費制度、自立支援法、それに続く障害者総合支援法が施行され今日に至っている。同法は、脱入所施設を提唱し、併せて通所施設で重度障害者を受け入れ可能にした。そのような理由から在宅で家族と共に暮らす方々が多くなった。当法人は、平成18年自立支援法と同年に認可施設を開設した。無認可施設時代の20年を入れると爾来35年となる。自立体験や介護休息できる短期入所や親元を離れて暮らすグループホームのニーズは年々高まっている。

当法人でも、どんなに重い障がいがあっても地域生活を支援していくという理念のもと支援体制を整えてきた。医療的ケアが必要な方の共同生活援助（グループホーム）を開所して七年目に入った。現在胃ろう他の医行為を受けながら暮らしているのは3名である。他に往診・訪看やリハビリを受けている方もいる。また短期入所でも医療的ケアが必要な方を受けとめている。

支援態勢は、看護師3名と生活支援員の半数となる7名が喀痰吸引研修を修了している。それでも交代制のシフト勤務から態勢が十全なものとは言いきれない。そんななか入居者の医療的ニーズは高まっている。短期入所利用者の医療的ケアも重篤化してきているが、支援体制が整えきれる時に慎重に受けとめている現状である。生活支援の喀痰吸引研修の受講は進めているものの、厳しい運営から看護師の夜勤体制はまだ敷けていない。
医療的ケアについてご家族と共通認識を構築していくこと難しさがあるなど、医療的ケアを伴う重度障害者を受けとめるための精度の高い態勢づくりは道半ばである。

喫緊の課題である短期入所やグループホームについて今年度ようやく検討に入る。それにあたり、「重度化した場合の対応にかかる指針」を職員と確認し、一丸となって取り組んでいきたい。
以下に、要旨を記す。

１．重度化対応およびターミナルケアに関する考え方
　てんハウスぐりんは、医療的ケアを要する利用者を含む重度心身障害者を対象にしており、日々医療との緊密な連携や看護体制を整え、障害の退行や症状の進行による重度化に対応します。
重度化およびターミナルケアが必要になった場合は、可能な限りご本人の意思ならびにご家族等の意向を尊重した治療方法ならびに介護方法で対応します。

２．重度化対応およびターミナルケアの体制
　緊急時における医師や医療機関との連携体制
・協力医療機関・かかりつけ病院・各自の訪問看護ステーション

３．重度化およびターミナルケアの具体的な支援方針
ご本人の意思やご家族等の意向に配慮した支援計画の作成　・主治医や看護・介護職員、ご家族等と終末期の迎え方について話し合い　・多職種協働によるチームケアの体制を整え支援を提供する

・静かに過ごせる環境整備　・食事への配慮・更衣・清拭・排泄等の介助への配慮　・緩和ケアやマッサージ等の介護　・ご家族付添いへの配慮。

４．管理者・サービス管理責任者・世話人並びに生活支援員・看護職員等の各職種の役割
細やかな介護・身体的 精神的緩和ケアを実施し、家族支援及び多職種と連携しながら、主治医または協力病院とし連携し起こりうる処置並びに緊急時の対応をする。

５．職員に対する教育・研修を実施する

山本　宏

編集後記

2021年度スタートいたしました。まだ目に見えないウィスルを気にする日常ですね。でも各事業所の活動をみて「ほっ」とできるそんなさくら草だよりになれたら嬉しいです（N）

✽さくら草だよりは晃新印刷さまのご厚意を頂き印刷しております✽